

## IWATE・あんしんサポート事業参画法人名簿(両磐ブロック)

(令和5年4月1日現在)

	ブロック	市町村	分野	法人名	施設名
1	両磐	一関市	障がい	仁愛会	一関ワークキャンパス
2	両磐	一関市	障がい	仁愛会	障害者支援施設一関リハビリセンター
3	両磐	一関市	高齢	つくし会	特別養護老人ホーム明生園
4	両磐	一関市	高齢	柏寿会	特別養護老人ホーム福光園
5	両磐	一関市	高齢	柏寿会	特別養護老人ホーム福光園アネックス
6	両磐	一関市	児童	ふじの園	児童養護施設一関藤の園
7	両磐	一関市	児童	さいわい会	認定こども園幸町保育園
8	両磐	一関市	高齢	二桜会	特別養護老人ホームソエル花泉
9	両磐	一関市	高齢	二桜会	デイサービスセンターソエル花泉
10	両磐	一関市	高齢	いわい砂鉄福祉会	特別養護老人ホームリビングハウスおおはら
11	両磐	平泉町	高齢	稲泉会	慶泉荘指定居宅介護支援事業所

岩手県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会  
協働による地域公益活動実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会（以下「経営協」という。）地域公益活動専門部会設置要領（以下「部会設置要領」という。）に基づき、事業実施に際して必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 社会情勢の変化により、岩手県における福祉課題は複雑多様化している。このような状況を踏まえ、本事業は、社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、制度の狭間にいる方々の自立を支援する新たなセーフティネットを構築するほか、アウトリーチを伴う活動によって地域の福祉課題を把握し、新たな社会資源を創出することを目的に実施する。

(名称)

第3条 この事業の名称は、「I W A T E ・ あんしんサポート事業」（以下「当該事業」という。）とする。

(実施主体)

第4条 当該事業は、この趣旨に賛同し、参画する経営協会員法人及び非会員の社会福祉法人（以下「事業実施法人」という。）が協働で実施するものである。  
2 当該事業の事務局を岩手県社会福祉協議会（以下「県社協」という。）に置く。また、関係行政機関、市町村社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等との連携に努める。

(事業実施法人)

第5条 事業実施法人は、当該事業に参画するに当たって以下の責務を果たすものとする。  
（１）あんしんサポート相談員（以下「相談員」という。）を配置すること。  
（２）特別会費又は会費を納入すること。  
2 事業実施法人は、当該事業を実施するに当たって、経営協と別添の覚書を交わすものとする。

(運営組織)

第6条 当該事業の運営に当たり、下表のとおり組織編成する。

名称	内容	根拠規程
経営協幹事会	当該事業の継続及び廃止に関すること	経営協運営細則
地域公益活動専門部会	当該事業の運営全般に関すること	部会設置要領
事業運営委員会	地域公益活動専門部会への意見上程に関すること	本要綱
ネットワーク会議	各ブロックにおける連携強化に関すること	本要綱

(事業運営委員会)

第7条 当該事業運営における課題と改善を目的に、原則として年1回以上、以下の構成で事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）を開催する。

- (1) 地域公益活動専門部会員
  - (2) 地域公益活動専門部会補佐員
  - (3) その他、有識者等、当該事業の推進に際し必要と認められる者
- 2 委員の任期は経営協幹事の任期に順じ、経営協幹事以外の者（有識者等）の任期は2年とする。
  - 3 委員長は、地域公益活動専門部会会長とする。
  - 4 副委員長は、地域公益活動専門部会副会長とし、委員長を補佐する。
  - 5 運営委員会は、委員長が招集する。
  - 6 運営委員会は、過半数の委員の出席がなければ、これを開き、議決することができない。
  - 7 運営委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

(ネットワーク会議)

第8条 当該事業の実施に当たり、各ブロックにおける相談員及び関係機関等の連携強化を目的に、以下の構成でネットワーク会議を開催することができる。

- (1) 当該地域のあんしんサポート相談員
  - (2) 当該地域の自立支援機関担当職員
  - (3) 当該地域の市町村社会福祉協議会担当職員
  - (4) 当該地域の市町村担当職員
  - (5) その他支援の実施に際し、情報交換及び情報共有が必要と認められる者
- 2 ネットワーク会議は、地域公益活動専門部会員又は地域公益活動専門部会補佐員（以下「主催法人」とする。）が招集する。
  - 3 ネットワーク会議の開催に際し、各ブロックにおける相談員及び関係機関等の相談支援機能の向上を目的に、研修会を併催することができる。なお、研修会の開催に要した費用（講師の報償費及び旅費、印刷製本費、通信運搬費等）について、あんしんサポート事業費として1回につき50,000円を上限に助成を行う。
  - 4 研修会の開催に要した費用について助成を受ける場合、主催法人は開催から30日以内に経営協事務局あてに請求書（様式5）を提出し、経営協事務局は請求書を受理した日から14日以内（土曜日、日曜日、祝日は含まない。）に事業実施法人あてに入金する。
  - 5 開催に要する担当者の人件費、ガソリン代、電話料金については、主催法人の負担とする。

(事業の内容)

第9条 当該事業は、何らかの理由により生活課題が生じて、支援が必要な者の相談に応じ、自立に導くことを目的とする。

- 2 相談員の業務は、概ね以下のとおりとする。
  - (1) 行政・関係機関等からの福祉的ニーズ・支援対象者の情報入手
  - (2) 支援対象者の相談

- (3) 各種社会保障制度や福祉サービスの利用援助
  - (4) 緊急を要すと認められる経済的支援（現物支給）
  - (5) 自立に向け、概ね3か月の継続支援
  - (6) 支援対象者に係る支援記録
  - (7) その他必要と認められる業務
- 3 当該事業の実施に当たり、事業実施法人は以下のとおり配慮する。
- (1) 相談員の勤務等に関する配慮
  - (2) 相談員の支援に関する指導助言
  - (3) 緊急を伴う現物支給の調達・支給の判断
  - (4) その他必要と認められる配慮
- 4 当該事業実施に当たって、経営協及び事業実施法人は行政・関係機関等、それぞれの地域における連携・協働体制の構築に努めるものとする。

#### （事業費）

- 第10条 当該事業は、事業実施法人の特別会費及び会費をもって充てる。
- 2 特別会費及び会費は、事業実施法人から年1回徴収し、年度途中で入会した場合についても同額とする。
- 3 特別会費及び会費の金額は、別表に定める。
- 4 活動に要する相談員の人件費、ガソリン代、電話料金等については、事業実施法人の負担とする。
- 5 経済的支援に要した費用について、事業実施法人は支出から14日以内に県社協あてに請求し、県社協は14日以内に事業実施法人あてに入金する。

#### （個人情報）

- 第11条 この事業の実施に当たっては、効果的な支援の実施のため、個人情報の適切な管理に十分配慮した上で、関係者で情報の共有に努めるとともに、事業の実施に携わる役職員等（以下「役職員等」という。）が業務上知り得た情報を漏らすことのないよう、各実施法人は役職員等に周知徹底を図る等の対策を講ずるものとする。

#### （緊急時における対応方法）

- 第12条 役職員等はこの事業を実施しているときに対象者に病状等の急変が生じた場合  
その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行うなどの必要な措置を講じなければならない。
- 2 この事業を実施しているときに事故が発生した場合は、直ちに経営協事務局、岩手県、市町村、対象者の家族等に連絡を行う。

#### （苦情解決）

- 第13条 この事業を実施に関する対象者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、経営協事務局に苦情を受け付けるための窓口を設置するものとする。

(雑則)

第14条 この要綱に定めるもののほか、この事業の運営に必要な事項は、経営協会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年7月11日から施行する。

この要綱は、平成31年4月24日から施行する。

この要綱は、令和2年4月30日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別表

I W A T E ・ あんしんサポート事業 特別会費額（経営協会員）

第1区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円未満の法人	16,000円
第2区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円以上10億円未満の法人	40,000円
第3区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益10億円以上の法人	64,000円

I W A T E ・ あんしんサポート事業 会費額（経営協非会員）

第1区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円未満の法人	40,000円
第2区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円以上10億円未満の法人	64,000円
第3区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益10億円以上の法人	88,000円

# ～IWATE・あんしんサポート 参画のご案内～

## IWATE・あんしんサポート事業

社会福祉法人の協働による地域公益活動

地域公益活動って何をすればいいの・・・

自分の法人だけではできる活動が限られてしまう・・・

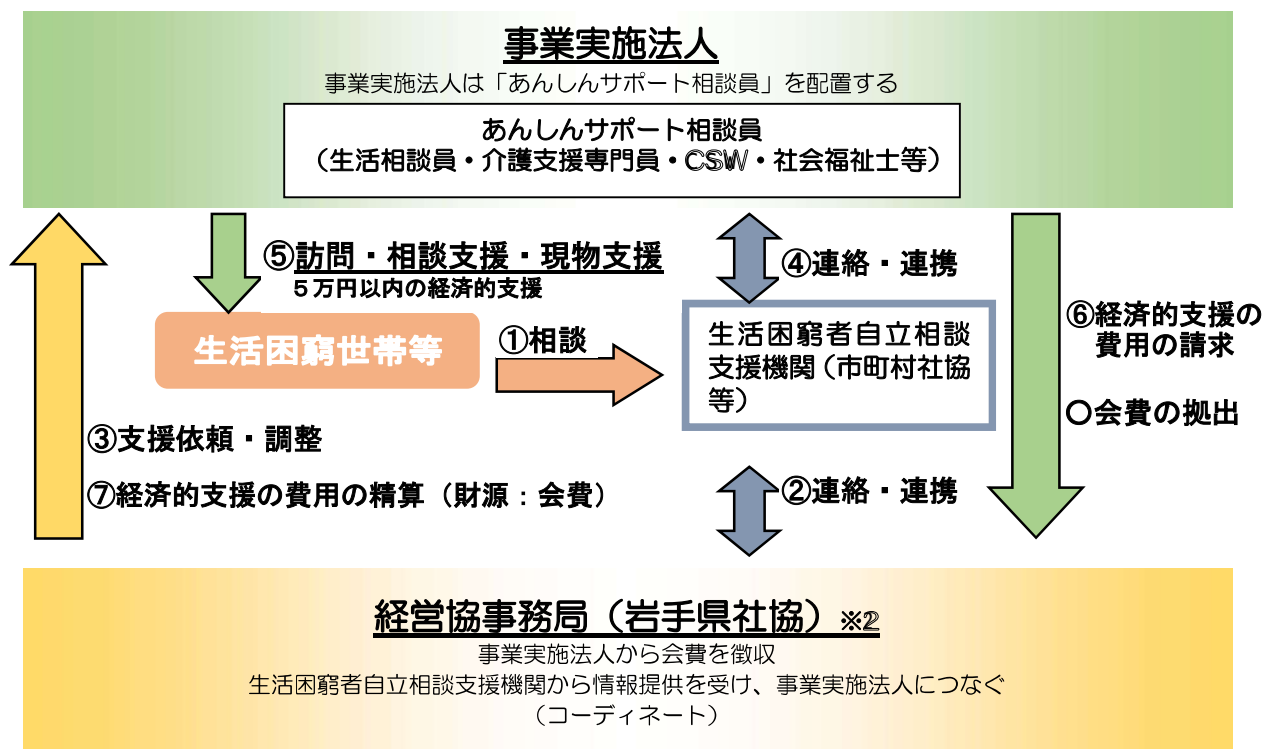
IWATE・あんしんサポート事業とは  
岩手県内の社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、  
生活困窮世帯等の自立を支援する、地域公益活動です。



### IWATE・あんしんサポート事業の取組

IWATE・あんしんサポートでは、  
○暮らしの困りごとを抱えた方への経済的支援  
○就労ブランクのある方等への一般就労に向けた就労準備体験（中間的就労）の場の提供  
○地域の子どもたちへの安全な居場所（フリースペース）の提供  
を行っています。

### IWATE・あんしんサポート事業（経済的支援）の流れ※



- ※1 経済的支援は、生活困窮者自立相談支援機関が関係機関と連携して行う支援活動の一部に位置付けられているため、生活困窮世帯等から事業実施法人に直接連絡することはありません。実際の支援も自立相談支援機関と連携して行うものです。就労準備体験も同様の流れで自立相談支援機関と連携して行います。
- ※2 ブロックによっては、ブロックの拠点法人がコーディネートを行っています。

＜経済的支援（現物支援を含む）の実施例＞

- 電気やガス、水道が止められそう（止められた）      ○灯油がない  
 ○就職活動したいが電話が止められそう      ○就職活動したいが移動用のガソリンが買えない  
 ○病院を受診するお金がない      ○子どもの学用品が買えない  
 ○食べ物がない

ＩＷＡＴＥ・あんしんサポート事業に参画するには

ＩＷＡＴＥ・あんしんサポートに参画するには、

- ①「あんしんサポート相談員の配置」（岩手県社協が実施する養成研修の受講）と  
 ②「会費の納入」が必要です。

ＩＷＡＴＥ・あんしんサポート事業 会費額

区分	内容	経営協会員	経営協非会員
第1区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円未満の法人	16,000円	40,000円
第2区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益2億円以上10億円未満の法人	40,000円	64,000円
第3区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益10億円以上の法人	64,000円	88,000円

～ＩＷＡＴＥ・あんしんサポートに参画して地域を豊かにする活動を推進しましょう～

本事業への参画・事業に関する問合せ先

岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部 あんしんサポート事業担当

電話 019(637)4482

社会福祉法人協働による地域公益活動  
I W A T E ・ あんしんサポート事業参画のご案内

1 趣旨・目的

社会情勢の変化により、岩手県における福祉課題は複雑多様化しています。このような状況を踏まえ、岩手県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会（以下「経営協」という。）では、社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、制度の狭間にいる方々の自立を支援する新たなセーフティネットを構築するほか、アウトリーチを伴う活動によって地域の福祉課題を把握し、新たな社会資源を創出することを目的に、平成 29 年度から協働による地域公益活動「I W A T E ・ あんしんサポート事業」を実施しています。

別添「協働による地域公益活動実施要綱」をご確認の上、貴法人の参画について、何とぞご検討の程よろしくお願い申し上げます。（平成 29 年度から経営協非会員も参画可能）

2 事業内容について

- ・ 本事業の、「地域における公益的な取組」としての実施については、I W A T E ・ あんしんサポート事業連絡会議において、県保健福祉部と情報共有したものであり、今後、継続的に同会議にて指導助言をいただきます。
- ・ 経営協事務局は、支援対象者と参画法人のマッチング及び現物給付等に要した費用の精算を行います。

3 参画方法について

- ・ 参画法人は、経営協と覚書（別添第 1 号様式）を交わします。
- ・ 参画法人は、1 人以上、相談員を置くこととします。新規に配置された相談員は、活動前に、「あんしんサポート相談員養成研修」に参加する必要があります。
- ・ 参画法人は、特別会費として、下記別表に定める金額を年 1 回、経営協事務局に納入します。
- ・ 本事業の活動費は、特別会費によって充てることとします。活動に要する相談員の人件費、ガソリン代、電話料金等については、参画法人の負担となります。

別表

I W A T E ・ あんしんサポート事業 特別会費額（経営協会員）

第 1 区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 2 億円未満の法人	16,000 円
第 2 区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 2 億円以上 10 億円未満の法人	40,000 円
第 3 区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 10 億円以上の法人	64,000 円



I W A T E ・ あんしんサポート事業 会費額（経営協非会員）

第1区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 2 億円未満の法人	40,000 円
第2区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 2 億円以上 10 億円未満の法人	64,000 円
第3区分	前年度の事業活動計算書のサービス活動収益 10 億円以上の法人	88,000 円

4 その他

- 「地域における公益的な取組」は、社会福祉法第 24 条第 2 項により、法人の規模にかかわらず全ての社会福祉法人に課せられた責務です。

（経営の原則等）

第二十四条 社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図らなければならない。

2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない。

- 生活困窮世帯には、要介護高齢者や保育が必要な子ども、知的障がい、精神障がい疑われる者等が散見され、社会福祉法人が自らの専門的なノウハウを生かして支援を行うことが期待されています。
- 現在、全ての都道府県において、類似の事業が実施又は検討されています。参画法人からは、「地域への貢献はもちろんのこと、支援活動や研修を通じて職員の視野が広がり、職員教育の一環としても有効である」との意見を伺っています。

5 入会方法について

別添「協働による地域公益活動実施要綱」をご確認の上、次の書類を、下記の照会先宛てに提出願います。

- I W A T E ・ あんしんサポート事業に係る覚書（第 1 号様式）  
希望法人には、電子媒体（Word 形式）にて提供します。  
必要事項を記入の上、押印したものを 2 部ご提出ください。  
後日、経営協会長印を押印したものを 1 部返送します。
- あんしんサポート相談員養成研修参加申込書

6 照会先

岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部（担当：日野岳）  
〒020-0831 盛岡市三本柳 8 地割 1 番 3 ふれあいランド岩手内  
TEL：019-637-4482 FAX：019-637-4255  
E-mail：s-hinooka@iwate-shakyo.or.jp

I W A T E ・ あんしんサポート事業  
フリースペース事業（社会福祉施設を活用した子どもの居場所づくり）  
実施要領

（趣旨）

第1条 この要領は、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会（以下、「経営協」という。）協働による地域公益活動実施要綱第9条の規定に基づき、地域の子どもに対し自宅以外に安心していられる居場所を提供し、孤立を防止するとともに学習支援に繋げることを目的に、I W A T E ・ あんしんサポート事業参画法人（以下「事業実施法人」という。）の資源を活用した子どもの居場所づくり「フリースペース事業（以下、「事業」という。）」の実施に際して必要な事項を定めるものとする。

（対象者）

第2条 事業の対象者は、実施場所まで通うことができる子ども（18歳以下の者）及びその保護者（1世帯につき1名まで）とする。なお、事業実施法人の設備等の事情により対象年齢を限定することは差支えない。

（実施期間）

第3条 事業の実施期間は、毎年度4月1日から3月31日までとする。

2 事業実施法人が開催する期間は、上記実施期間のうち3か月間を1クールとするが、事業実施法人の判断により更新することを妨げない。

（事業実施法人）

第4条 事業実施法人は、事業に参画するに当たり、次の責務を果たすものとする。

（1）フリースペース担当者（以下「担当者」という。）を配置すること。

（2）地域の子どもに対し、落ち着いて過ごすことができる場所を提供すること。

2 事業実施法人は、経営協事務局に対し、参加申請書（様式1）を提出するものとする。

（事業の内容）

第5条 地域の子どもに対し、事業実施法人の資源を活用した居場所を提供し、孤立を防止するとともに学習支援に繋げることを目的とする。

2 担当者の業務はおおむね次のとおりとする。

（1）関係機関との連絡調整

（2）子ども及び保護者の相談支援

（3）その他必要と認められる業務

3 事業実施に当たり、事業実施法人は以下の事項に配慮するものとする。

（1）担当者の勤務等に関する配慮

（2）担当者の相談支援に関する指導助言

（3）フリースペース事業の継続・中止の判断

- (4) 食事の提供、必要物品の購入等の配慮
- (5) その他必要と認められる配慮

(利用申込手続)

第6条 利用を希望する子ども又は保護者は、事業実施法人に対し、開催日の1週間前までに「氏名、年齢(学年)」を添えて申し込むものとする。

(事業費)

第7条 事業に係る費用は、I W A T E・あんしんサポート事業実施法人の特別会費及び会費をもって充てる。

- 2 事業実施法人に対し、食事の提供及び必要物品の購入等に要した費用について、あんしんサポート事業費として子ども及び保護者1名につき1日500円を上限に助成を行う。
- 3 事業実施に際し、地域住民等のボランティアを採用した場合、ボランティアに対する旅費支給に要した費用について、あんしんサポート事業費としてボランティア1名につき1日1,000円を上限に助成を行う。1人当たりのボランティア日数は60日を上限とする。なお、1日当たりのボランティアの人数は、参加する子どもの人数を超えないこととする。
- 4 事業実施法人は、事業の費用については、3か月ごとに、かつ事業実施が年度をまたぐ場合は年度ごとに、経営協事務局に請求書(様式2)を提出することとする。
- 5 活動に要する担当者の人件費、ガソリン代、電話料金、光熱水費に関する費用等については、事業実施法人の負担とする。

(ボランティア行事用保険)

第8条 参加者及びボランティアは、全国社会福祉協議会ボランティア行事用保険(Cプラン)に加入する。

- 2 加入手続は経営協事務局が行い、保険料はI W A T E・あんしんサポート事業実施法人の特別会費及び会費をもって充てる。

(緊急時における対応方法)

第9条 事業実施法人は、この事業を実施しているときに子どもに怪我や病状等の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行うなどの必要な措置を講じなければならない。

- 2 この事業を実施しているときに事故が発生した場合は、直ちに経営協事務局、関係機関、子どもの保護者等に連絡を行わなければならない。

附 則

この要領は、平成29年7月12日から施行する。

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

## フリースペース事業 参加申請書

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会  
社会福祉法人経営者協議会 会長 様

下記の事業所は、社会福祉法人経営者協議会協働による地域公益活動として実施する「I W A T E・あんしんサポート事業 フリースペース事業」に参加し、関係機関との連携の下、地域の子どもに対し、自宅以外に安心していただける居場所を提供します。

法人名	
代表者名	
事業所名	
事業所の種別	
事業所長名	
フリースペース 担当者名 職・氏名	
実施場所の住所 (上記事業所と異なる場合に 記入)	〒
連絡先	TEL e-mail

受入れ可能人数	人 / 日
受入れ可能曜日・時間帯等	
提供可能サービス	<input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 入浴設備 <input type="checkbox"/> その他 ( )

令和 年 月 日

社会福祉法人

理事長

印

令和 年 月 日

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 会長 様

所在地

施設名

代表者名

印

担当者名

連絡先

**あんしんサポート事業費（フリースペース）  
請 求 書**

下記により支払を受けたいので、関係書類を添えて請求します。

記

1 請 求 額 \_\_\_\_\_ 円

2 申請額の内訳（別紙可）

開催日				
参加者数	子ども	人	人	人
	保護者	人	人	人
	ボランティア	人	人	人
金額		円	円	円

3 添付書類

※ 請求金額の根拠となる書類を添付してください。

4 振込先銀行口座

銀行名	銀行	支店名	支店
預金種類	普通・当座	口座番号	No.
フリガナ			
名 義			

I W A T E ・ あんしんサポート事業  
就労準備ボランティア事業（社会福祉施設を活用した中間的就労）  
実施要領

（趣旨）

第1条 趣旨

この要領は、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会（以下「経営協」という。）協働による地域公益活動実施要綱第9条の規定に基づき、一般的な職業に就く「一般就労」をただちに目指すことが困難な者に対して、あんしんサポート相談員が所属する社会福祉施設を活用し、就労の準備活動として短時間の軽作業等を行う場を提供する中間的就労「就労準備ボランティア事業（以下「事業」という。）」の実施に際し、必要な事項を定めるものとする。

（対象者）

第2条 本事業の対象者は、自立相談支援機関等のアセスメントにおいて、将来的に一般就労が可能と認められるが、一般就労に就く上で、まずは短時間の軽作業など可能な形で働ける場を提供しながら自立を支援する「中間的就労」を体験する必要があると判断された者（ニート、ひきこもり、刑余者、生活保護受給者、就労ブランクがある者等）。

（実施期間）

第3条 事業の実施期間は、毎年度4月1日から3月31日までとする。

- 2 就労準備ボランティア事業利用者（以下「利用者」という。）が活動する期間は、一人につき、1年度当たり3か月以内とし、体験日数は60日を上限とする。
- 3 なお、利用者及び事業実施法人双方が必要性を認めた場合に限り、活動期間を延長することができるが、事業実施法人に対するあんしんサポート事業費の助成は利用者1名につき60日分を上限とする。

（事業実施法人）

第4条 事業実施法人は、事業に参画するに当たり次の責務を果たすものとする。

- (1) 就労準備ボランティア担当者（以下「担当者」という。）を配置すること。
  - (2) 法人の規定に基づき、利用者に旅費（日当含む。）を支給すること。
  - (3) 就労準備ボランティア（中間的就労）確認書に基づき、利用者に賄い食を提供すること。
- 2 当該事業を実施するに当たり、経営協事務局に対し、参加申請書（様式1）を提出するものとする。

（事業の内容）

第5条 当該事業は、「一般就労」をただちに目指すことが困難な者に対し、就労の準備活動のために短時間の軽作業等を行う場を提供することを目的とする。

- 2 担当者の業務は、おおむね次のとおりとする。

- (1) 自立相談支援機関等との連絡調整
  - (2) 利用者の相談支援
  - (3) その他必要と認められる業務
- 3 当該事業の実施に当たり、事業実施法人は次の事項に配慮する。
- (1) 担当者の勤務等に関する配慮
  - (2) 担当者の相談支援に関する指導助言
  - (3) 利用者の状況が変化した際等のボランティア継続・中止の判断
  - (4) 利用者が事業実施法人への就職を希望した場合、採用面接の機会を設ける等の配慮
  - (5) その他必要と認められる配慮

(利用申込手続)

- 第6条 本事業の利用を希望する者は、自立相談支援機関等と相談の上就労準備活動計画書(様式3)を作成し、自立相談支援機関等を通じて経営協事務局に提出するものとする。
- 2 事業実施法人は、自立相談支援機関等及び利用希望者と三者面談を行い、確認書(様式2)を締結するものとする。

(事業費)

- 第7条 事業に係る費用は、事業実施法人の特別会費及び会費をもって充てる。
- 2 事業実施法人に対し、利用者の旅費支給に要した費用について、あんしんサポート事業費として利用者1名につき1日1,000円を上限に助成を行う。
- 3 事業実施法人は、利用者一人ごとの活動終了から30日以内に経営協事務局あてに請求書(様式4)を提出する。
- 4 活動期間が年度をまたぐ場合は、年度ごとに請求手続きを行うものとする。
- 5 活動に要する担当者の人件費、ガソリン代、電話料金、賄い食の費用等については、事業実施法人の負担とする。

(ボランティア行事用保険)

- 第8条 利用者は、全国社会福祉協議会ボランティア行事用保険(Aプラン)に加入する。
- 2 加入手続は経営協事務局が行い、保険料はI W A T E・あんしんサポート事業実施法人の特別会費をもって充てる。

(緊急時における対応方法)

- 第9条 事業実施法人は、この事業を実施しているときに利用者に怪我や病状等の急変が生じた場合、その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行うなどの必要な措置を講じなければならない。
- 2 事業実施法人は、この事業を実施しているときに事故が発生した場合は、直ちに経営協事務局、自立相談支援機関、利用者の家族等に連絡を行わなければならない。

附 則

この要領は、平成２９年７月１２日から施行する。

この要領は、令和５年４月１日から施行する。



## 就労準備ボランティア事業 参加申請書

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会  
社会福祉法人経営者協議会 会長 様

下記の事業所は、社会福祉法人経営者協議会協働による地域公益活動として実施する「I W A T E ・ あんしんサポート事業 就労準備ボランティア事業」に参加し、自立相談支援機関との連携の下、「一般就労」をただちに目指すことが困難な者に対し「中間的就労」の場を提供します。

法人名	
代表者名	
事業所名	
事業所の種別	
事業所長名	
就労準備ボランティア 担当者 職・氏名	
事業所所在地	〒
連絡先	TEL e-mail

受入れ可能人数	
ボランティアの内容	
受入れ可能曜日・時間帯等	
利用者の条件	
旅費(日当含む。)の支払い	<input type="checkbox"/> 有 (同市町村内在住の場合、1日おおむね 円) <input type="checkbox"/> 無

令和 年 月 日

社会福祉法人

理事長

印

## 就労準備ボランティア（中間的就労） 確 認 書

法人名	
事業所名	
事業所長名	
就労準備ボランティア担当者名	
連絡先	TEL

「就労準備ボランティア」は、一般就労を希望する方に対して、就労の準備活動として短時間の軽作業等を行う場（中間的就労）を社会福祉法人の事業所が提供し、相談支援機関と共に支援する事業です。

あなたが行う就労準備ボランティアの内容について、下記の記載内容を確認し、□にチェックを入れてください。

- ☐ 就労準備ボランティアは、就労の準備活動として行うボランティア活動で、一般の雇用契約ではありません。
- ☐ 就労準備ボランティアは無償ですが、旅費（日当含む。）を支給します。  
※事業所により、支払わない場合や上限額を設ける場合は明示します
- ☐ あなたの活動場所は、[事業所名] \_\_\_\_\_ です。
- ☐ あなたの活動内容は、\_\_\_\_\_ です。
- ☐ あなたの担当職員は、\_\_\_\_\_ です。
- ☐ 活動開始日は、令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ ）です。
- ☐ 活動日は、下記のとおりです。

月	月	月
賄い食 朝・昼・夕	賄い食 朝・昼・夕	賄い食 朝・昼・夕
: ~ :	: ~ :	: ~ :

- ☐ 社会福祉法人 \_\_\_\_\_ 個人情報保護に関する規程に従い、活動上で知り得た情報は、無断で使用したり、口外しないでください。

私は上記の内容を確認しました。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

氏名 \_\_\_\_\_

### [事業実施法人記入欄]

上記の内容を確認しました（確認印）

事業所長	総務部担当者	就労ボランティア担当者

### [自立相談支援機関]

上記の内容を確認しました（確認印）

相談支援機関名  
担当者名  
連絡先（TEL）

印

## 就労準備ボランティア 就労準備活動計画書

1 基本情報					
氏名			性別	男 ・ 女	
生年月日	年	月	日	年齢 歳	
住所			電話番号	自宅 携帯	
緊急連絡先	氏名		連絡先詳細	携帯・自宅・勤務先・他( )	
	本人との関係		電話番号		
相談支援 機関名			担当者名		
			電話番号		
通勤方法			同居家族	<input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無	
2 仕事に関すること					
現在就労 していない 理由			今まで 働いたこと がある職種		
希望する 仕事の形態	<input type="checkbox"/> 人と関わる仕事 <input type="checkbox"/> 一人で作業する仕事		希望する 仕事の内容		
好きなこと 得意なこと			苦手なこと		
他人の話を 聞く	<input type="checkbox"/> 日常生活に支障がない <input type="checkbox"/> 配慮があれば理解できる <input type="checkbox"/> 理解できるが受け入れにくい <input type="checkbox"/> ほとんど理解できない		他人に 伝える	<input type="checkbox"/> 日常生活に支障がない <input type="checkbox"/> 指示があればできる <input type="checkbox"/> 興味のあることしか話さない <input type="checkbox"/> 伝えることができない	
3 生活に関すること					
生活リズム (現在)	起床時間 ( 時頃・不規則) 就寝時間 ( 時頃・不規則)		生活リズム (目標)	起床時間 ( 時頃・不規則) 就寝時間 ( 時頃・不規則)	
疾病・障がい	<input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無		服薬	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
通院	定期的通院	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		服薬時間	
	通院頻度			飲み忘れ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 時々
病院名					
体調不良時 の対処	<input type="checkbox"/> 自己管理で行える <input type="checkbox"/> 体調が悪いことを周囲に伝えることができる <input type="checkbox"/> 体調が悪いことに気づきにくい <input type="checkbox"/> その他 ( )				
4 その他					
配慮を 要すること			事業所への 希望		

本人が当面希望する 活動内容	<b>【作業内容】</b> 記入例：清掃補助、お茶出し
	<b>【活動期間・活動日】</b> 記入例：○月○日～○月○日 毎週月・水・金曜日、14時から17時まで
	<b>【賄い食の希望】</b> 記入例：有り（夕食）
将来の就労に関する 目標	<b>【仕事内容】</b> 記入例：介護の仕事
	<b>【働き方】</b> 記入例：フルタイム
特記事項	

※就労準備ボランティア活動に当たっての留意事項

- ①所定の活動日、活動時間に、作業に従事するか否かは、利用者の自由であること。また、所定の作業量について、所定の量を行うか否かについても、利用者の自由であること。
- ②活動時間の延長や、活動日以外の日における作業指示は行わないこと。
- ③所定の活動時間内における受注量の増加等に応じた、能率を上げるための作業の強制は行わないこと。
- ④遅刻・早退に対する旅費（日当含む。）の減額制裁はしないこと。
- ⑤作業量の割当、作業時間の指定又は作業の遂行に関する指揮命令違反に対する旅費（日当含む。）等の減額はしないこと。

**〔相談支援機関確認欄〕** 上記就労準備活動計画書について確認しました。

自立相談支援機関名

担当者名

印

令和 年 月 日

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 会長 様

所在地

施設名

代表者名

印

担当者名

連絡先

## あんしんサポート事業費（就労準備ボランティア） 請 求 書

下記により支払を受けたいので、関係書類を添えて請求します。

記

1 請 求 額 \_\_\_\_\_ 円

2 申請額の内訳

利用者氏名 \_\_\_\_\_ 様

活動期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

旅費（日当含む） 1 日当たり \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ 日

3 添付書類

※ 利用者に対する旅費（日当含む）支払の根拠となる書類（別紙等）を添付してください。

4 振込先銀行口座

銀行名	銀行	支店名	支店
預金種類	普通・当座	口座番号	No.
フリガナ			
名 義			

## 就労準備ボランティア受領書

利用者\_\_\_\_\_

担当者\_\_\_\_\_

日 付	金 額	受 領 印	日 付	金 額	受 領 印
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	
/ /	円		/ /	円	